

試合名、会場、日時を書く。



日本バスケットボール協会公認 ミニバスケットボール・スコアシート



試合名	県夏季大会	会場	ビッグホエール	2007年7月23日(10:30)	No. A-2
チームA	チームB			主審	A・スコアラー
合計 33	合計 27			副審	タイマー
	延長			スコアラー	30秒オペレーター

チーム名・各クォーターの得点および合計点を書く。

サインはゲーム終了後にスコアシートの記録がすべて書き終わってから、アシスタント・スコアラーとタイマーがサインをし、つぎに30秒オペレーターとスコアラーがサインをする。最後に副審と主審の順にサインをする。

チーム名、ユニホームの色を書く。

×を記入。使わなかった場合は-を書く。

チーム	A (白)		タイム・アウト	
			前	後 延 延
			×	
選手氏名	No.	出場時限	ファウル	
			1	2 3 4 5
1	4	/	P'1	P'1 P3
2	5	/	P'2	P3
3	6	/		
4	7	/	P3	P3
5	8	/		
6	9	/		
7	10	/		
8	11	/		
9	12	/		
10	13	/		
11	14	/		
12	15	/		
13	16	/		
14	17	/		
15	18	/		
コーチ:			T3	

選手名・番号、コーチの氏名を書く。

ファウルがあるたびに×でそのクォーターの枠の数字を消す。延長は4Qの続きとなる。

各クォーター、出場するプレイヤーに斜線/をひく。途中から交代しゲームにでたプレイヤーには反対の斜線\をひく。

選手・コーチのファウルは、1回ごとにファウルをした選手・コーチのらんに記号を書く。ゲームの終わりには残った枠に線を横にひく。

ファウルの記号

- P: パーソナル・ファウル
- T: テクニカル・ファウル
- U: アンスポーツマンライク・ファウル
- D: ディスクォリファイニング・ファウル
- フリースローが与えられる場合は'を加える。(例: P')
- 各クォーターの数字を加える。(例: P2)

チームファウル

1Q	2Q
×	×
2	×
3	×
4	4

3Q	4Q
×	×
×	×
×	×
4	×

ランニング・スコア

A	B	A	B	A	B
1	1	41	41	81	81
4	2	42	42	82	82
	3	43	43	83	83
6	4	44	44	84	84
	5			85	85
10	6				
	7				
11	8				
	9				
5	10	14	14		
7	11	6	6		
7	12	52	52	92	92
13	13	53	53	93	93
8	14			94	94
	15				
9	16				
13	17	9	9		
18	18	12	12		
5	19				
20	20	15	15		
4	21				
	22	11	11		
5	23				
6	24	4	4		
25	25	8	8		
7	26				
27	27	16	16		
5	28				
	29				
7	30				
12	31				
	32				
	33				
14	34				
	35				
	36				
	37				
	38				
	39				
	40				

フィールド・ゴール
得点したチームのランニング・スコアからの数字を/で消していき、となりのらんに得点をした選手の番号を書く。

フリースロー
得点したチームのランニング・スコアからの数字をで消していき、となりのらんに得点をした選手の番号を書く。

クォータ・延長終了
各クォーター、各延長時限の終わりに各チームの最後の得点を でかこみ、枠の下に1本の横線をひく。

ゲーム終了
合計得点を でかこみ、枠の下に2本の横線をひく。その下の使わなかった枠には斜線\をひく。